

# さうぞう

NO. 5/2024 (通算797号)  
2024・3月号  
建交労 関西合同支部  
e-mail kgs8815@yahoo.co.jp  
TEL 075-205-0421  
FAX 075-203-8405 部内資料

## 24春闘本番！



## 2.14一斉要求提出！

### 2024年春闘

交渉単位	24春闘要求
中部タイムス	50,000円
	時間給1,500円
中部日急	10,000円
関西急送	50,000円
	時間給1,500円
CSS	時間給1,500円
タイムス物流	44,000円
	時間給100円UP
寿運送	44,000円
大陽液送	44,000円
大田貨物	44,000円
関西急送姫路	46,000円
九州関急	44,000円
内田ライン	44,000円
陽晃	44,000円
内田物流	44,000円
九州液送	44,000円
工藤産業	44,000円

24春闘がスタートし、今年は2月14日が一斉提出日でした。関西合同支部ではこの日に合わせて議論してきた生活実態にもとづく切実な24春闘要求の提出行動を行ないました。

福岡ブロックでは吉村副委員長、南大阪ブロックは長谷川副委員長が中心におこない、関西急送では橋本委員長、筒井書記次長が職場の実態と要求の趣旨説明を行いました。

関西急送においては3月5日の第1回春闘交渉で大幅賃上げと付帯要求に対する回答を求めるとともに、各職場で出されている職場改善要求に対して誠意を持って交渉し解決がはかられるよう要請をしました。

未提出の職場については早期に要求をまとめ会社に提出していきます。

また各交渉単位は、早期に団体交渉開催日を確約させ、支部書記局にご連絡ください。  
職場の声を団体交渉で訴え、安全で働きやすい職場をつくりましょう。

また3月21日には要求実現に向けて  
**「3.21支部統一行動」**を実施します。

大幅賃上げなどの要求実現のため組合員の皆さんご参加ください！！！  
みんなでこの春闘を勝ち取りましょう！！！



# 建交労第25回中央委員会



1月27日～28日に千葉・クロスウェーブ幕張にて、第25回中央委員会が開催され支部からは執行部含めて4名が参加しました。

角田中央執行委員長のあいさつでは「能登半島地震の犠牲者と被災者に心からお悔やみとお見舞い申し上げます。一刻も早く安否不明者の発見と被災者たちの生活再建が進むことを政府や自治体に求めます。義援金カンパのとりくみを強化しよう」、続いて「『失われた30年』によって、国民生活は苦しくなっている一方で自民党は金権腐敗にまみれ財界・大企業支援を今なお継続し、大軍拡予算は8兆円となっている。そのお金を復興支援に回せ！の声を広げよう」、

発言する

筒井書記次長

「24春闘は、経済の立て直しと国民生活の改善を結び付けた大幅賃上げを勝ち取る為に全組織が奮闘しよう」と呼びかけられました。

その後、広瀬中央書記長より24中央春闘方針、統一要求基準などの提案がありその後全体討論が行われ、支部からは筒井書記次長が「内田ライン争議支援の御礼と大田貨物裁判最高裁支援のお願い、支部の24春闘の取り組み」について発言を行いました。

会場では、「能登半島地震の義援金カンパ」と「京都市長選支援力カンパ」を集め、被災した石川県本部中央委員と京都府本部中央委員にそれぞれ角田委員長が手渡し、参加者からも激励と連帯の拍手が送されました。2日目の最後には全ての議案を採択し、2024春闘闘争宣言を確認しました。



## 中央労使共同行動

1月29日中央運輸労使協議会が主催した中央労使行動が行われ、組合側40名、経営側10名が参加し、うち関西合同支部から9名、経営側から関西急送、タイマス物流、中部タイムス物流、九州関急の4社4名が参加されました。



今回の行動では全日本トラック協会をはじめ、国土交通省、経済産業省、産業医療ガス協会への要請と支部が行っている大田貨物裁判の署名提出と最高裁判所への要請行動を行いました。



全日本トラック協会要請では「トラック運輸産業の将来展望について」と題した要請書を提出し、標準的な運賃の実行の確保やトラックステーションなど休憩施設の改善、高速道路料金の割引の拡充、若年運転者不足の対策など、この運輸業界にとって待ったなしの課題について意見交換を行い、日常業務で感じている問題点の改善要望を強く訴えました。最後に足立全国トラック部会部会長が「2024年問題をマイナスにとらえずドライバーの労働環境改善など前向きに検討してもらいたい。若年層の確保では賃金と労働条件をどう作れるか、トラック協会が先頭に立ち働きやすいトラック産業にしてほしい。」とあいさつをし、全日本トラック協会への要請を終わりました。

次ページへ続く

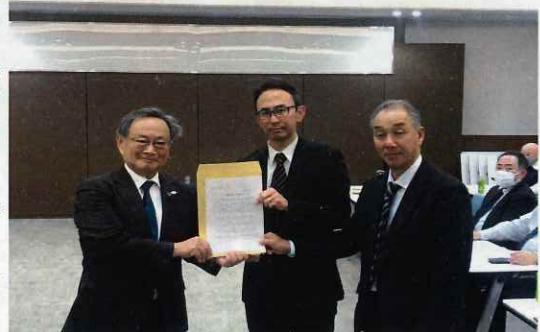


また午後からは衆議院議員第2会館に場所を移して国土交通省、経済産業省と安全・安心のトラック輸送の実現と業界秩序の確立、事業の経営環境改善、トラック運転手の労働環境・労働条件改善向けた対策を抜本的に強化することを求めて要請を行いました。

国土交通省との要請では、はじめにこの間、各職場でこの間取り組み集約した請願署名（団体806筆、個人6240筆）を提出しました。国土交通省とは適正運賃の収受、燃料サーチャージ関連、高速道路割引関連、荷主などによる運賃買い叩き問題などについて意見交換を行い関係省庁や高速道路3社連携して改善することや、トラックGメンなどを活用してトラック労働者の賃金労働条件を改善につなげたいと前進した回答を引き出しました。

経済産業省との要請では、経済産業省には、公正取引問題、中小企業経営支援策、燃料高騰対策・安定供給問題等5項目の要請を行いました。

経産省からの回答は、独禁法に基づいた書面調査を行った結果、現在100社を超える企業に立ち入り調査を行い、勧告を含む処分を行っている。今後とも国交省と連携し、適正取引のガイドラインに沿った指導を行っていく。経営支援策については、ゼロゼロ融資の返済が始まるとともに、人材確保対策の一環として賃上げ特例



左：全日本トラック協会・若林理事長

中：教宣文化社・成瀬社長

右：全国トラック部会・足立部会長

制度も打ち出している。今後も充実させていく。さらに、燃料高騰対策としては、現行の補助金による支援は3月までで終了となっているが、現在のような高値が続いているならその後も支援策は考えていかなければならない。また、トリガーメンバードの取り扱いについては、政党間で協議している政治課題となっているため、官庁は関与していないが行方を見守っている。など経産省としての考え方について意見交換を行い、全体として、経産省に物流を管轄する部署ができたことにより、物流業界の現状を見据えて施策を推進しているがわかる交渉となりました。今回の要請で安全・安心のトラック輸送に向けての改善が直ちに結果を生むわけではありませんが安心・安全なトラック輸送に向けて労使共通の課題で一体感を感じられ、今後も安心・安全なトラック輸送目指して要請行動を継続していくべきであると実感し、要請行動を終えました。



**見直しませんか？**

**事故が起こった時、相談から解決まで親切・丁寧！**

**1 車検証と前契約の保険証コピーにて即お見積もり！**

**2 もちろん！無事故割引の継続OK!**

**3 自賠責もお受けします。**

興味のある方はぜひ！ご質問＆申し込みは組合事務所へ

# 大田貨物班最高裁判所要請行動



1月29日(月)建交労使共同中央行動に合わせ、大田貨物班最高裁判所要請行動をおこない、要請書と全国の仲間から寄せられた請願署名(団体 159筆、個人1200筆、合計1359筆)を提出し、全国酸素部会相澤部会長より代表挨拶と要請書の読み上げをおこないました。申立人代表として関西合同支部長谷川副委員長が大阪高裁の原判決を不服とし最高裁へ上告受理申立てをおこなった事の趣旨説明を行い「大阪高裁より言い渡された判決の法令解釈の誤り、証拠無視な民訴法247条の著しい違反、契約書の形式ではなく、労務の実態に即した判断をおこなわなければならないという最高裁判例違反、これらは労働者保護のために看過できるものではないので上告受理を検討して欲しい」と要請しました。また支部からも橋本委員長、吉村副委員長、全国酸素部会顧問でもある鷹巣さんが補足説明を行いました。この要請行動は一方的に要請する形で、時間も30分と限られていきましたが、申立人の思い、考えを伝えることができました。

## 当面の日程<2024年>

- 3月 1日 京都トラック部会局要請行動
- 3月 5日 関西急送第1回春闘交渉
- 3月 7日 中央行動
- 3月 8日 全国トラック部会幹事会  
京都府本部女性部烏丸宣伝行動
- 3月 10日 京都府本部春闘決起集会  
大阪トラックパレード
- 3月 13日 京都府本部ハローワーク前宣伝
- 3月 17日 福岡トラックパレード  
愛知トラックパレード(2/25延期代替日)  
兵庫トラック部会春闘決起集会

## 3月 21日 支部統一行動

3月 29日 京都府本部執行委員会

## 3月21日 支部統一行動

行動後は、各地の行動の記事・写真を書記局まで送って下さい。お待ちしております。



HomePage

関西合同支部



スマホやタブレットで読み込んで下さい。  
支部ホームページに簡単に入れます。

組合員専用ページパスワード  
「oideyasu」(おいでやす)



QR コード